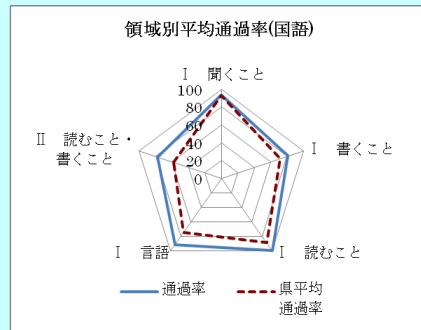
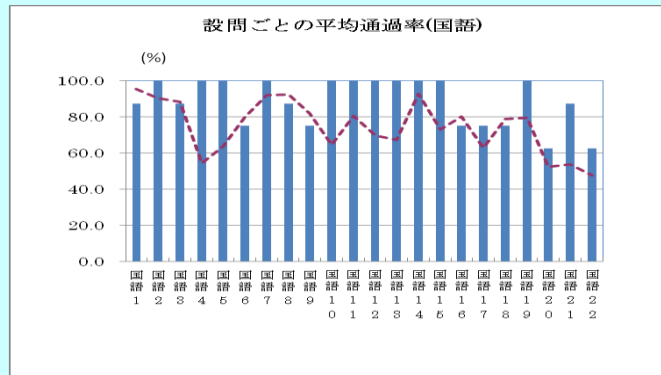


「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 88.6%, 県 74.7%)

領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



本年度の結果について

○全体的な傾向について
 領域別ではタイプ I の聞くこと・読むことにおいては良好な結果であるが、書くことに課題が見られる。とくに情報の取り出し・情報を関連付けての理由の記述や事例を挙げた記述に課題がある。

○昨年度への課題の取組の成果
 昨年度は、タイプ I の読むことに課題が見られた。そこで、説明文や物語文を読むときに、中心となる語や文の見つけ方を指導し、内容を大まかに捉えさせるために、段落の要約や小見出しをつけることに取り組んだ。その結果として、要旨をつかんで文を読みとることに改善が見られた。

重点課題

- 【課題 1】 設定した場面に応じた記述を行う問題の通過率が 62.5% で、4 つの段落に分けて文を書くことに課題があった。
- 【課題 2】 情報を取り出して、理由や事例を挙げて説明する問題の通過率が 62.5% で、2 つの事例について記述しなければならない所で事例の 1 つを落としていることに課題があった。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

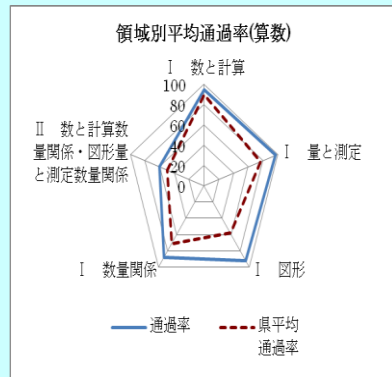
- 【課題 1】 教科書の文を使って、段落のまとめごと内容に大きくつかみ、文の構成を捉える力をつけるとともに、文を書かせる時、語と語の続き方に注意させるとともに段落の使い方の指導を徹底して行う。
- 【課題 2】 複数の資料から必要な情報を取り出し、条件に合わせて文を書かせる。(時数制限、複数の条件を与えるなど)

【課題 1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法			2年以上 説明文単元テスト	2年以上 「期末」テスト		4年生 H27年度基礎基本テスト	2年以上 「期末」テスト
目標値			90%	90%		80%	90%
実施後数値			83.3%	86.4%		62.5%	83.8%

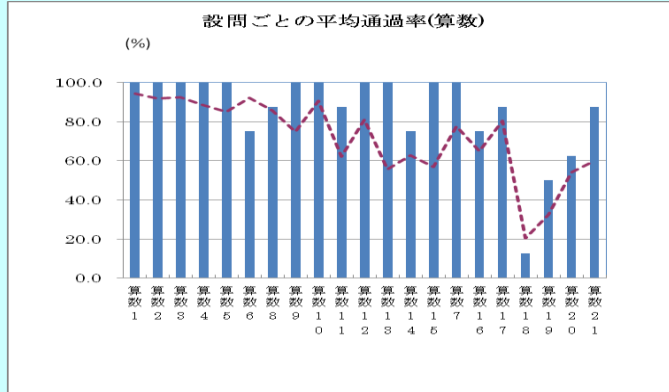
【課題 2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法				3年生以上 説明文単元テスト		4年生 H27年度基礎基本テスト	3年生以上 説明文
目標値				90%		80%	5クラス実施
実施後数値				81%		57.1%	83.2%

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 85.7%, 県 71.6%)

領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



本年度の結果について

- 全体的な傾向について
全体的に見ると、タイプⅠ数と計算・量と測定・図形・数量関係では良好な結果が見られるが、タイプⅡの数量関係で、棒グラフと折れ線グラフを関連づけて読みとる問題に課題が見られた。
- 昨年度への課題の取組の成果
昨年度は、図形領域で示された条件を理解し、言葉と式を用いて説明することに課題があった。そこで、自立解決場面で図と式を関連づけて発表させることを取り入れた指導を行った。その結果本年度、図形の性質を用いた説明問題に改善が見られた。

重点課題

- 【課題1】数量関係の領域で、棒グラフと折れ線グラフを読みとる問題に課題があった。
- 【課題2】量と測定の領域で、条件を満たすバスの時刻を書き出す問題に課題があった。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

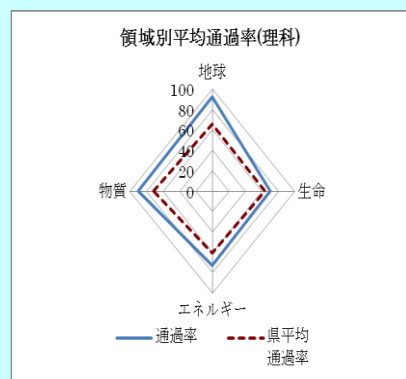
- 【課題1】①目的に応じて資料を集めて分類整理し、伴って変わる2つの数量の関係を表したり調べたりすることができるように指導するとともに、グラフを見て変化の様子や特徴を言葉や文で表させるように指導する。
②複数の資料から情報をとり出し整理する。
- 【課題2】①問題をよく読んで「何が訊かれているのか」正確につかんで答えさせるように指導する。
②条件を伴う問題を出し、条件に合わせて問題を解く指導をする。

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法				2年生以上 数量関係	3年 「表とグラフ」テスト		2年生以上 数量関係
目標値				90%①	90%①		90%①
実施後数値				84.4%	88%		83%

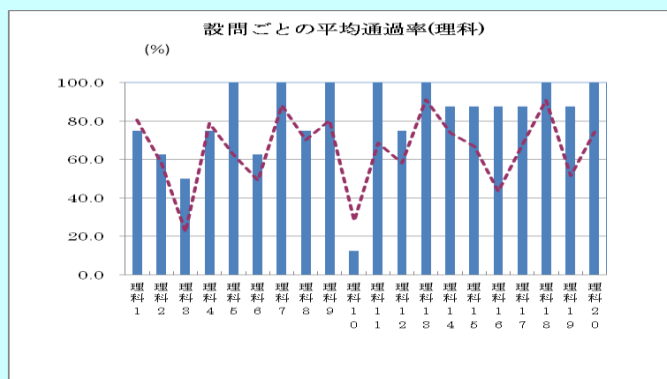
【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法			2年生以上 すべての領域で	2年生以上 すべての領域で	4年生以上	4年 H27年度基礎基本テスト	4年生以上
目標値			5クラス実施①	5クラス実施①	90%②	80%②	90%②
実施後数値			90%	100%	83%	50%	83.3%

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 81.3%, 県 65.3%)

領域別平均通過率



設問ごとの平均通過率



本年度の結果について

- 全体的な傾向について
地球・物質についてタイプⅠ・Ⅱともに良好な結果であるが、生命・エネルギーのタイプⅡに課題が見られた。
- 昨年度への課題の取組の成果
昨年度は地球の分野に課題があった。月や星の動きや観察の仕方をICTを効果的に活用して指導した。その結果、地球分野の問題の通過率が改善した。

重点課題

- 【課題1】生命のタイプⅡの昆虫の体のつくりについて説明する問題に課題があった。
- 【課題2】エネルギーのタイプⅡの並列つなぎの回路のつなぎ方を答える問題に課題があった。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

- 【課題1】①昆虫や植物などの観察を行い、分かった事を絵や文に正確に表現させ、特徴をつかませる。
②生命分野の問題を解決させる。
- 【課題2】①エネルギー分野の復習プリントに取り組みさせる。
②児童にさまざまなつなぎ方を思考錯誤させて、回路を考えさせ、電球がつく・つかない、電流の強さ、向きを確かめさせる。

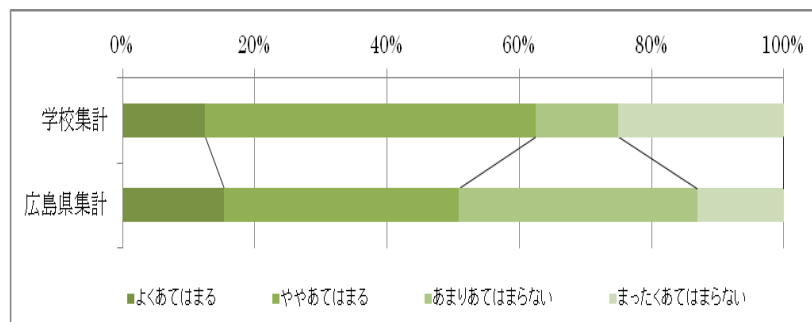
【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法			2年生以上①	3年生以上②		4年② H27年度基礎基本テスト	2年生以上①
目標値			5クラス実施	90%		80%	5クラス実施
実施後数値			80%	87%		55.3%	89%

【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法				3・4年②	3年生以上①	4年① H27年度基礎基本テスト	3年生以上①
目標値				2クラス実施	90%	80%	90%
実施後数値				100%	90.5%	58.3%	84%

質問紙調査（「基礎・基本」定着状況調査：児童質問紙調査）

(1) 生活・学習

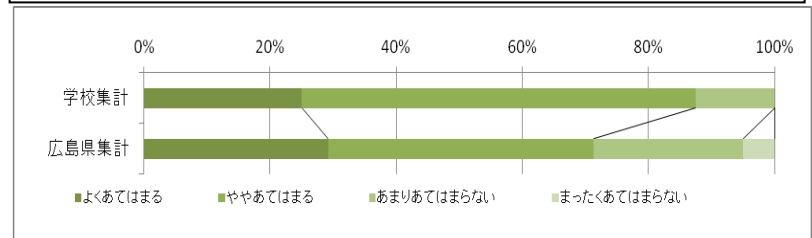
授業では、課題を解決するために、進んで、資料を集めたり取材をしたりしています。



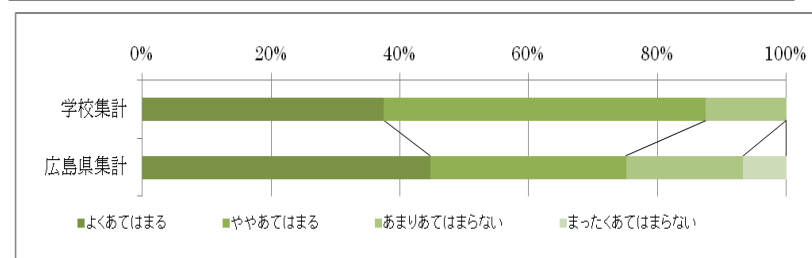
児童の回答についての課題（現状値）	今後の具体的な取組の内容	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
「課題を解決するために、進んで資料を集めたり取材をしたりしています。」という質問に「よくあてはまる」と答えた本校児童の割合は12.5%だったが、県平均は15.4%であった。	「総合的な学習の時間」の時間を中心に、児童の興味や関心に添った課題を設定させて、その解決に向けて、試行錯誤させるような学習を行う。	3年以上	「よくあてはまる」と回答する児童の割合を50%以上にする。	児童アンケート	12月 2月	61% 60%	47.5%

(2) 教科

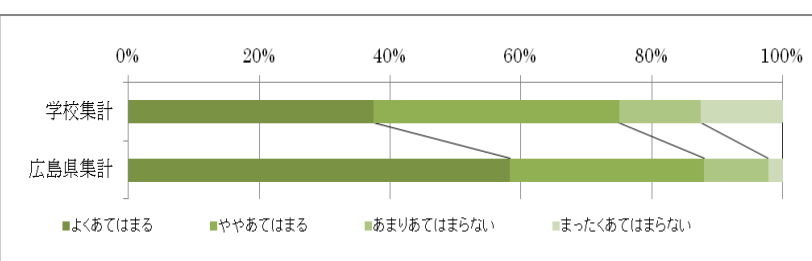
国語の授業の中で、伝えたいことの中心がうまく伝わるように、話の組み立てを考えて話したり、話の中心を考えながら聞いたりしています。



算数の授業の中で学んだことの振り返りをしています。



理科の勉強はよく分かります。



	児童の回答についての課題（現状値）	授業改善の方向性や具体的な取組	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
国語	「国語の授業の中で、伝えたいことの中心がうまく伝わるように、話の組み立てを考えて話したり、話の中心を考えながら聞いたりしています。」という質問に「よくあてはまる」と答えた本校児童の割合は25%であったが、県平均32.2%であった。	国語の授業の中で、教材文の中心となる語や文を捉えて、要約させて、話をさせたりさせるようにする。また、話を聞くときに、話し手が伝えたいことは何か掴みながら聞かせるように指導する。	2年以上	「よくあてはまる」と回答する児童の割合を50%以上にする。	児童アンケート	12月 2月	30% 30.4%	5.4%
算数	「算数の授業の中で学んだことの振り返りをしています。」という質問に「よくあてはまる」と答えた本校児童の割合は37.5%であったが、県平均48.9%であった。	算数の授業の中で、「本時の学習で分かった事」「参考になった友達の見解」などをノートに書かせる。	2年以上	「よくあてはまる」と回答する児童の割合を50%以上にする。	児童アンケート	12月 2月	47.5% 50%	12.5%
理科	「理科の勉強はよく分かります。」という質問に「よくあてはまる」と答えた本校児童の割合は37.5%であったが、県平均58.3%であった。	理科の授業の中で、観察や実験を多く行い、実験の結果やまとめなどをノートに書かせる。	3年以上	「よくあてはまる」と回答する児童の割合を50%以上にする。	児童アンケート	12月 2月	54% 58.3%	20.8%